

## 《課題名》

Lee Silverman Voice Treatment BIGはHoehn&Yahr StageⅢ-Ⅳ度のパーキンソン病患者のADLを改善するか

## 《研究対象者》

2018年6月から2023年12月に、Lee Silverman Voice Treatment BIG(以下、LSVT® BIG)目的で入院した患者さん

## 《研究協力をお願い》

公立甲賀病院では上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の通常のリハビリテーションで得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされております。

利用する情報からは、お名前、ご住所など、直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

研究目的や研究方法は以下の通りです。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

ご自身の診療データを研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

## (1)研究の意義, 目的について

### 《研究の意義, 目的》

パーキンソン病患者さんのリハビリテーション依頼は発症中期の依頼が多く、この時期の患者さんは日常生活動作に制限の出る方が多いです。アメリカで開発されたLSVT® BIGが日常生活動作の自立度改善、運動機能の改善にもたらす効果を確認することで今後のリハビリテーションに活かします。

## (2)研究の方法について

### 《研究の方法》

2018年6月1日～2023年12月31日の期間に、当院でLSVT® BIGを施行されたパーキンソン病患者さんが対象となります。電子カルテにある診療記録から年齢、性別、罹病期間、同居家族の有無、介護度、日常生活自立度、運動機能などを解析し、実施前後の変化を確認することでADL・運動機能の改善の程度を明らかにすることで今後のリハビリテーションに活かしていきたいと考えます。

## (3)予測される結果(利益・不利益)について

参加頂いた場合の利益・不利益はありません。

## (4)個人情報の取扱いについて

利用する情報からは、お名前、ご住所など、直接同定できる個人情報は削除します。

#### **(5)研究成果の公表について**

この研究成果はホームページや学会発表, 学術雑誌などで発表を予定していますが, その際も個人を特定する情報は公表しません.

#### **(6)研究計画書等の入手又は閲覧**

本研究の対象となる方は, 希望される場合には, 他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます.

#### **(7)利用又は提供の停止**

研究対象者又はその代理人の求めに応じて, 情報の利用を停止することができます. また, 研究対象者が未成年者または死亡されているときにはその代理人の問い合わせに応じます.

#### **(8)問い合わせ等の連絡先**

公立甲賀病院 リハビリテーション課 理学療法士 大谷 明日輝

〒528-0074

滋賀県甲賀市水口町松尾1256

TEL:0748(62)0234 FAX:0748(65)1517